

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	自覚もしくは他覚的認知機能低下が疑われる患者の認知機能検査結果の後方視的分析		
1. 研究の目的と方法	認知症の診療の中では様々な検査を行いますが、認知機能の状態を把握するためにお話をしながら行う認知機能検査は、現在の患者様の状態を把握するために必要不可欠な検査です。認知症の診断においては1つの検査で判断することは少なく、複数の検査を組み合わせることで様々な側面から患者様の認知機能を評価することが一般的です。それぞれの検査やその組み合わせにおいて、認知症の原因となる病気ごとに特徴的な結果パターンを探ったり、軽度認知障害と認知症によって異なる結果パターンを探ったりすることは、認知症の早期発見・早期診断につながります。早期診断・早期発見によって、軽度の段階から個々の状態に合わせた、より適切な保健医療サービスの提供が可能になり、予後の見通しを持ちながら将来への準備をすることができます。本研究は当院精神神経科にて物忘れを主訴に認知機能検査を行なった方々の認知機能検査の結果を分析することで、軽度認知障害、認知症の原因となる病気ごとに特徴的な得点（もしくは失点）パターン、鑑別の助けとなるような認知機能検査の組み合わせなどを検討することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2022年5月から2026年3月までの間に精神神経科にて物忘れを主訴もしくは認知症評価を目的として認知機能検査を受けた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、教育歴、診断名、他覚的・自覚的物忘れの有無、抗認知症薬の内服の有無・期間、精神疾患の既往、意識障害の有無、認知機能に影響を及ぼすような身体疾患の有無、検査結果（神経心理学的検査、画像検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 精神医学講座
		氏名	高崎恵美
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の	東京慈恵会医科大学 精神医学講座		

	試料・情報の 管理責任者	品川俊一郎
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	情報の利用開始予定日：2026年5月頃～ なお、この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 精神医学講座 研究責任者：助教 高崎 恵美（たかさき えみ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3301） 対応時間：平日 9：30 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。